

第六章 グアタパラ耕地内で 44 年間の記念植樹

グアタパラ耕主邸宅地内には由緒ある方々の記念植樹が数多くある。その中で植樹見取り図にそって代表的な方々を記載する。1920 年アルベルト 1 世、ベルギー王植樹№ 16 のマンゲイラ MANGUEIRA、1924 年イタリア移民が多く配耕され、それらの視察、激励目的での訪問、ペードロ・バドグアイア伊大使、植樹№ 65 のパイネイ PAINEIRA、また 1960 年 8 月 7 日安東義良日本駐伯全権大使が全拓連扱い移住地決定場所のグアタパラ耕地を視察、それを記念して植樹№ 58 のピニェイロ PINHEIRO、そして植樹記録最後の人として元伯国大統領で当時上院議員であったクビチエック氏がグアタパラ移住地揚排水機場落成記念に来耕、その記念として植樹№ 6 のアンダース ANDASSU。このような記念植樹が 44 年間に渡り 72 品種が植え付けられた。ホームページ“FAZ GUATAPARA”より



1961 年 5 月茨城知事一行移住者入植前にグアタパラ移住地視察（ポアビスタより望む）



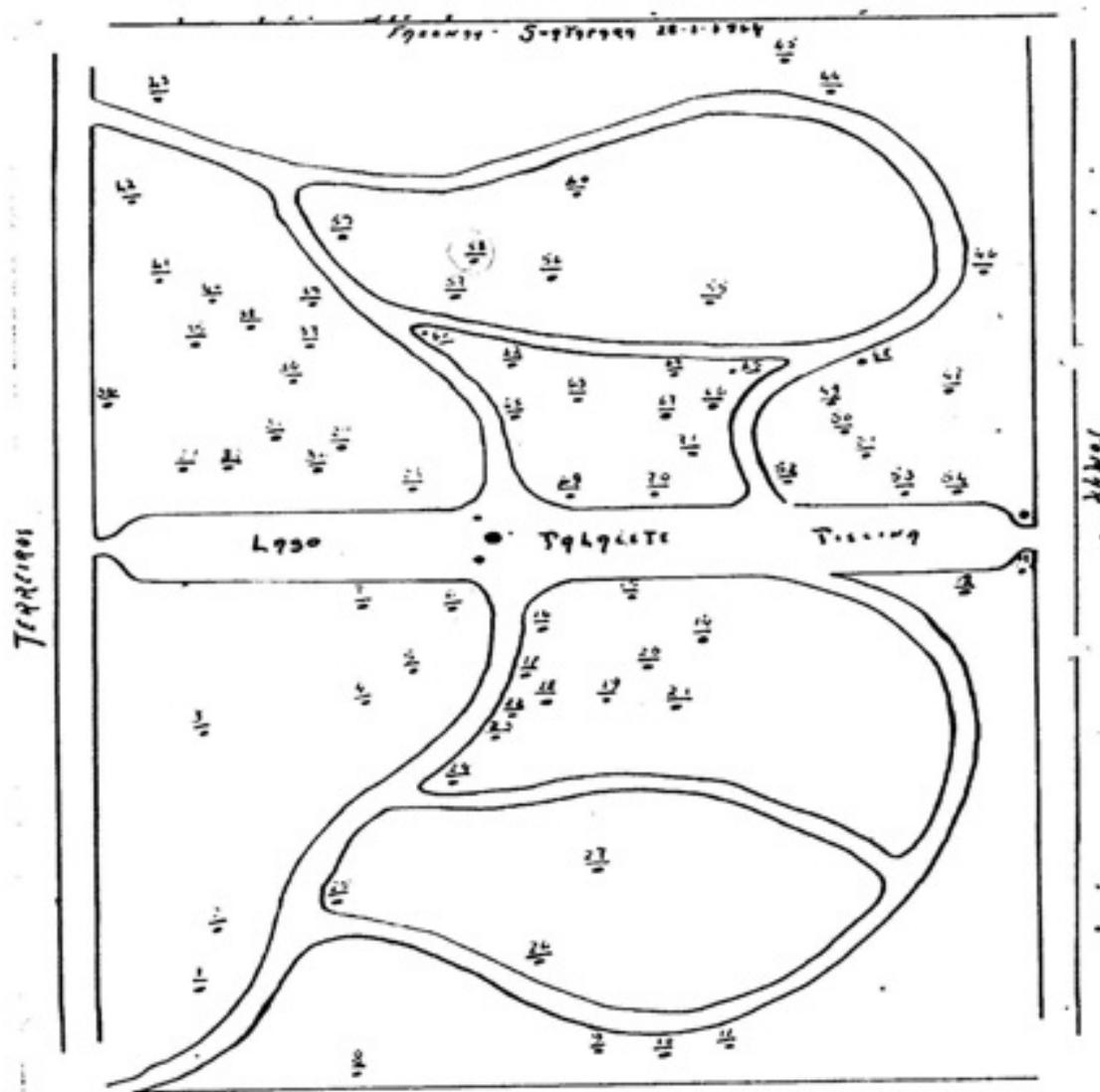
リオにて岩上茨城県知事と安東大使（中央の人）

【雑記】

グアタパラ耕地の東側の奥行った岩場に洞窟が存在し長さが数キロ～10数キロとも伝えられ、元耕地住民の方々に伺うと、土着民（インジオ）が掘ったとも伝えられる。奴隷解放以前は逃亡を企てた奴隷への置きなどの罰則場であったが、奥が深いため、危険この上ないので数十年前に入口をコンクリートで塞ぐ（洞窟遺跡、洞窟住居とも？）また岩場から元モンテイロ駅上の岩場までつながっているとも伝えられる。

Plantio das Árvores: グアタパラ耕主邸宅地内記念植樹見取り図

Agora vejam a relíquia que o Gê conseguiu. Ele nos passou o mapa do plantio das árvores do Palacete, como segue:



Lista das Árvores:

Além do mapa acima, o Gê conseguiu a lista das árvores plantadas e o nome de quem as plantou. Esta lista realmente é histórica, vale a pena conferir: